令和8年9月議会で建設予算が可決されました

佐賀県立大学（仮称）

―人を育てる。その志を未来へ。―

佐賀は、伝統的にこどもを大切にしてきた地域です。いつの時代も「人づくり」から新たな価値を生み出してきました。

明治期に多くの人材を輩出した、佐賀藩の藩校・弘道館。法律、教育、鉄道、国防。どれも佐賀の人がいなければ、今の日本はなかったかもしれません。学びが人を育て、人が時代を動かしていったのです。

同じく時代の転換期である今。これからの佐賀県を担うこどもたち、そして佐賀県で暮らす全世代、さらには全産業のために私たちができること。

「人づくり」の志を、少子化だからこそ次の世代へ。地域や企業、そして県民の皆さんと力を合わせて、佐賀県立大学は佐賀県の未来を切り拓きます。



2029年４月開学予定

定　員　1学年 200人～300人
学部名　経営情報学部（仮称）
建設関連予算　約146.6億円

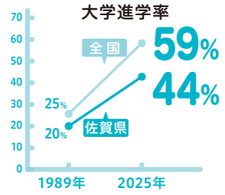
佐賀県の学びの現状

大学の数が少ない

県内の大学数
わずか **3** 校

人口規模が近い県の大学数
福井県６校、山梨県７校

大学進学率は伸びている



佐賀県には公立大学がない

公立大学がない県
4 県のみ

栃木県、徳島県、
佐賀県、鹿児島県

全国102校の公立大学で
恒常的な定員割れゼロ

大学進学時に人材が流出

大学進学者約3500人の約85%

毎年 約**3000**人
もの若者が



大学進学時に県外へ流出

県内経済界からも大きな期待!!

県立大学の取り組みに興味・関心をもつ企業や団体など約270社が「協力事業所」に登録しています。学びの場所の提供や、インターンシップの受け入れなど学生の学びや成長を支えるさまざまな形で協力していただきます。

経済界が求める人材

- 想いをもって地域をより良くする人材
- さまざまな人と協働し、行動できる人材

一緒に佐賀県を盛り上げていきましょう！



あらゆる分野の期待に応える人材を育成していきます

プレオープンキャンパス 高校1年生の声

８月に、県立大学の１期生となる高校１年生を対象に「プレオープンキャンパス」を開催し、グループワークを通じて県立大学の学びを体験していただきました！

グループで協力して1つの問題に向かっていくところが面白く、佐賀県立大学にもっと興味がわいた

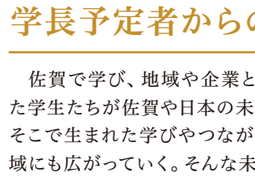


オープンキャンパスで佐賀県立大学の学びの内容がわかり、イメージが変わった



今後のプレオープンキャンパス
12/5(土)・6(日)
（佐賀市）　（神埼市）

※2027年1月以降のプレオープンキャンパス日程は、コチラをご確認ください。



学　長
予定者　山口（やまぐち） 和範（かずのり）氏
（立教大学教授）

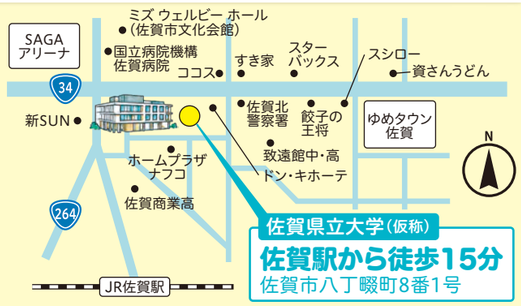
学長予定者からのメッセージ

佐賀で学び、地域や企業と関わりながら、成長した学生たちが佐賀や日本の未来を担う人材へ――。そこで生まれた学びやつながりが、県内の教育や地域にも広がっていく。そんな未来の実現を目指して、県立大学の開学に取り組んでいます。

公式インスタグラム

佐賀県立大学についてよくある質問はこちら

公式ホームページ



詳しくは　政策部　☎0952(25)7494　✉ kendaiteam@pref.saga.lg.jp

県立大学から、こんな「変化」を生み出します

県立大学は、学生だけでなく地域や企業、そして 佐賀県の未来にさまざまな好循環を生み出します。

高校生の進学先の選択肢を増やす

県内で学べる選択肢が増える
▼
「佐賀で学ぶ」「佐賀に残る」という選択が広がる



※保護者にとっても選択が広がる

企業や地域に大学や学生との「接点」をつくる

企業・団体の課題 × 大学の知識・研究 × 学生の発想
▼
新商品・新サービス・新事業などの可能性、地域課題の解決につながる



※県内各企業・施設に新たなイノベーションが生まれる

時代や地域に合った学びを提供

PBL※（課題解決型学習）
グループワーク × 現場学習 ⇒ 実践力
▼
経営と情報の知識をベースに、PBLを通して地域や企業の課題解決に取り組む人材を育成する

熊本県立大学は、2027年４月に半導体学部を増設

自分で考えて動ける人材が社会で活躍！！

※学生が自ら課題を見つけ、その解決に主体的に取り組む学習方法

卒業後は、佐賀県や全国で活躍

地域・企業・行政などと接点を持つ
▼
「佐賀で働く」という選択が広がる



※県内就職に向け、インターンシップの受け入れやマッチングを実施



県内で学び ▶ 地域や企業、行政 を知り ▶ 佐賀や全国で活躍する

県立大学は佐賀県の未来を切り拓きます



昔と違う、今の学び

昔	今
人口増加	人口減少
定型業務	不確実性 創造性
これまで	これから
正確に仕事を進める人材を育成することが、日本の成長につながっていました。	作業や処理でのAIの活用が進み、人にしかできない新しい価値を創造する人材が必要です。

地域における大学のあり方も、求められる学びも、時代とともに変わってきています。

入試
- ●点数重視



- ●人物重視



大学
- ●大講義室での授業中心



- ●少人数でのグループワーク中心



社会人
- ●決められた仕事を確実に進める



- ●課題をみつけ、さまざまな人と協力して解決する

